

【箱根駅伝】応援ポイント特集

「オール専修」のご声援、ありがとうございました

※このほか仲六郷・雑色、小田原、箱根の応援ポイントにもたくさんの方々に集まっていただきました。



▲大森ポイントは校友会品川支部を中心に大応援団



▲「多摩区・3大学連携協議会」で応援した川崎ポイント



▲辻堂ポイントで佐藤選手を応援する文・新井勝絃ゼミ



▲保土ヶ谷ポイントには育友会福井支部からも



▲湘南の風を受けて…茅ヶ崎ポイント



▲初日、ゴールを待ち受ける芦ノ湖ポイント



手作りのボードもあった平塚ポイント



<関連ページ>

- [【箱根駅伝】総合9位 — 全員で掴んだシード権 —\(1\)](#) [ニュース専修1月号]
- [【箱根駅伝】総合9位 — 全員で掴んだシード権 —\(2\)](#) [ニュース専修1月号]
- [【箱根駅伝特集】](#)

〈中野ゼミ40周年・加藤ゼミ30周年・福原ゼミ2周年合同パーティー〉

11月18日、新宿区の「京王プラザホテル」で中野ゼミ・加藤ゼミ・福原ゼミの合同パーティーが開催された。加藤茂夫経営学部教授が故中野繁喜教授のゼミ1期生で、福原康司助教授が加藤ゼミ17期生ということもあり、加藤教授の奉職30年にあわせ合同で行ったもの。

会に先立ち、加藤教授、福原助教授、順天堂大学水野基樹講師(加藤ゼミ15期=「校友を訪ねて」参照)が記念講演。パーティーには日本経営教育学会会長の小椋康宏東洋大学教授、富山尚徳専修大学専務理事の来賓をはじめ、ゼミの卒業生ら249人が出席し、専フィルの演奏や、全学応援団チアリーダーの演舞などもあり、盛会だった=写真。



《校友の本 紹介》

小林 たかや(昭53経済)著

秋葉原人(アキバゲンジン)

アキバの歴史と魅力を徹底検証

ある新聞社の調査で「東京で最も変化の激しい街」にあげられた秋葉原は、いまも日々変貌(へんぼう)を遂げている。



秋葉原で生まれ育ち、千代田区議を務める著者が、多くの人にこの街をもっと理解して楽しんでもらいたいと、執筆を決意。さまざまな秋葉原生活者＝秋葉原人にスポットをあてた。この街に人が多く集まるのはなぜか。秋葉原ブランドの仕組みや仕掛けの秘密は、変化に対応し、成功してきた人たちの言葉の中にヒントがある。名物「おでん缶」誕生の裏側も。デジタルハリウッド大学の杉山知之学長が推薦文を寄せている(エール出版社・本体1500円＋税)。

《専大校友を訪ねて》

恩師に導かれ「天職」を知る

順天堂大学スポーツ健康科学部スポーツマネジメント学科講師
水野基樹さん(平5経営・平7院経営修・平13院経営博単位取得)

全日本男子バレーボールチームのチームビルディング、看護師や救急救命士の職務ストレスをどう解消していくかなど、「経営組織学」の枠を超え、「キャリア開発」をキーワードにさまざまな領域を研究している。

高校までは野球に打ち込んだが、ひじを故障し「大学では勉学に集中しよう」と決意。「経営学総論」の講義で加藤茂夫教授に出会い、その情熱に引き込まれた。「加藤先生の授業がなかった2年次は、研究室に押しかけては話を聞いていただきました」。3年次から念願のゼミ生に。教授の勧めで進んだ大学院では、研究室を超えて、院生同士で議論したり、論文の発表本数を競うなど切磋琢磨(せつさたくま)した。

修士課程修了後、カリフォルニア大学デービス校のマネジメントコース、ビジネスコミュニケーションコースでも学び、平成14年から現職。医学部の協力も得やすく研究環境は抜群。「研究の多くは医学的なことに関わっています。例えば、プロ野球選手に弱みを克服させるというテーマでは、科学的データをフィードバックすることで、理解してもらいやすくなるのです」。

数多くの優秀なスポーツ選手を輩出している順天堂大。「一流アスリートの特徴は研究熱心で誠実だということ。常に注目されているという自覚があり、講義も最前列で受講しています」。

近年ニーズの高いストレスコーピング(対処法)の研究では、大学や専門の枠を超えてコラボレーションしていくことで、さらなる広がりが出てくるという。現在は6本の調査研究を進行中。「『こころの問題』に軸足を置いて、社会のさまざまな問題解決に応用できる研究を発信し続けることで、自信をもって学生に教えることができ、彼らと触れ合うことが、活力になっています。加藤教授との出会いから『研究』と『教育』という天職を得ました」と笑顔を見せた。

